

音楽科学習指導案

指導学級：3年1組 33名

指導場所：音楽室

指導者：教諭 田尻多佳子

1 題材名 「合唱のよろこび」

主教材 混声三部合唱 「言葉よりも・・・」 松井 孝夫 作詞・作曲

2 題材について

(1) 教材観

本題材は本校の合唱コンクールとの関連を踏まえ、設定されているものである。「言葉よりも・・・」は混声三部合唱曲で、作詞・作曲者が真剣さを増している環境問題への訴えを素直な歌詞と旋律とに仕上げている。様々な環境への警鐘が鳴らされている昨今、中学3年生の生徒にも内容が理解しやすく、「言葉より行動を起こさなくては何も変わらない」「私たちはいったい何ができるのか」という思い、心情を語りかけた曲である。

(2) 生徒観

中学生の時期に顕著にみられる変声については、多少差は見られるものの、おおそ落ち着きを見せ、安定した声を出せるようになってきている。ハーモニーづくりの面では幾分甘さが見られるものの指示されたことを実践しようとする態度が見られ、曲にふさわしい強弱を設定することができるようになってきている。3学年においては、歌詞の内容や曲想を味わいながら、それぞれの曲にふさわしいイメージや感情を広げ、思いや意図をもって創意工夫して歌う活動をめざしている。特に、歌詞の内容については、生徒が感じ取ったり、イメージを広げたりしたことを伝え合い、共有させることで、よりよい表現力につなげさせたい。

(3) 指導観

本校における歌唱活動は、合唱をその中核に位置付けている。小学校中学年で音の重なり、高学年における同声合唱、そして発達段階に応じた中学校での混声合唱へつながる。声を合わせることで表現する合唱は、一人では出来ない音楽活動の一つである。「声」は一生使うことのできる表現媒体であり、相手（聞き手）に自分の思いや考えを伝える重要な手段の一つとして、生活を営む上では欠かせないものであり、コミュニケーション能力と密接につながっている。また、合唱を指導する際は、美しい響きのある「声」と、しっかりと合唱に取り組もうとする「意欲」を条件として授業を進めている。まず「声」の面では、姿勢、表情、呼吸の三点を常に念頭に置かせ、歌わせる中で適時指導を加えている。「意欲」の面では、生徒一人一人の発言や、表現をしっかり認めるように心がけている。この二つを踏まえ、指導にあたっては、ICTを活用も授業に取り入れ、グループ・ペア学習を設定し、互いに協力し合い、活発な活動ができるようにしていきたい。その際、生徒の活動の場を多く設定し、自らの言葉で表現しようとする姿勢も育てていきたい。生徒自身が考え工夫して歌うという主体的な学習活動としての合唱へ発展させることで、生徒に対する音楽的感性を高めることができるのではないかと考える。

3 題材の学習目標

- (1) 合唱の楽しさを体験することを通して、歌詞の内容や曲想、声部の役割と全体の響きとのかかわりなどに関心を持ち、それらを生かして曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組ませる。
- (2) 音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱などの音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わったり、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解したりして曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもたせる。

- (3) 創意工夫を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声や、言葉の発音、読譜の仕方などを身に付けて歌わせる。

4 題材の指導計画

節	時	指導の流れ	言語活動 (☆)・ICT活用 (◎) の工夫
合唱のよろこび	1	・ 主旋律, 他のパートおよび, 曲の構成の理解	・ 範唱CDを活用した各パートの理解 (◎) ・ 書画カメラを活用した曲の構成の理解(◎)
	2	・ 各パート練習, 音と音とのかかわり合い	・ リーダーを中心としたパート練習 (☆) ・ 範唱CDを活用した各パートの理解 (◎)
	3	・ グループごとの調べ学習・内容理解	・ リーダーを中心とした調べ学習 (☆◎)
	4 (本時)	・ 歌詞の内容や曲想を生かした表現の工夫	・ 書画カメラ等を活用したグループ発表 (☆◎) ・ 合唱練り上げのための表現の工夫 (☆)
	5	・ 歌詞の内容や曲想を生かした表現の工夫	・ 合唱練り上げのための表現の工夫 (☆) ・ 録音した合唱を聴く (◎)

5 本時の実際 (4 / 5)

- (1) 主題 「歌詞の内容や曲想を生かした表現の工夫」

(2) 学習目標

- 歌詞の内容や曲想に関心を持ち、それらを生かして曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組ませる。
- 音楽を形づくっている要素 (音色, リズム, 旋律, テクスチャ, 強弱) を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 歌詞の内容や曲想を味わいながら曲にふさわしい音楽表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもたせる。
- 歌詞の内容や曲想を生かした, 曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声や, 言葉の発音, 読譜の仕方などを身に付けて歌わせる。

(3) 研究仮説に沿った授業設計の視点

- 音楽活動を充実させるために, 展開の場面で, 教材に関連する映像等をDVDで視聴させる場を設定する。
- 音楽活動の展開の場面で, 書画カメラやプロジェクターを使い, 自分の意見を視覚的に訴えさせる場を設定する。
- 音楽活動の展開の場面で, 自己のイメージや思いを言葉に表し伝え合ったり, 共感したりする場面を設定させることで, 互いに意見を共有させる。

(4) 評価規準と生徒の姿

観 点	評 価 規 準	生 徒 の 姿
音楽への関心・意欲・態度	歌詞が表す情景や心情や曲想に関心を持ち, 曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	話し合い活動や歌唱活動に主体的に取り組んでいる。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素 (音色, リズム, 旋律, テクスチャ, 強弱) を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 歌詞の内容や曲想を味わいながら曲にふさわしい音楽表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	音楽を形づくっている要素 (音色, 旋律, 強弱) を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 歌詞の内容や曲想を味わいながら曲にふさわしい音楽表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。

音楽表現の技能	歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な技能を身に付けて歌っている。	曲にふさわしい発声や、言葉の発音などに気を付けて歌おうとしている。
---------	--	-----------------------------------

(5) 授業の展開

(☆: 言語活動, ◎: ICT活用)

過程	時間	形態	学習活動	指導上の留意点	仮説実証の視点
導入	10分	一斉	1 「言葉よりも・・・」を合唱する。	<ul style="list-style-type: none"> 前時を想起させながら、のびのびと歌わせ、学習する雰囲気を作らせる。 姿勢, 音程, 強弱, ハーモニー 	☆ 指揮者がどのように歌わせたいか発表させる。
			2 学習課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の目標を理解させる。 	
歌詞に込められたメッセージを、自分の思いと重ねて表現しよう。					
展開	35分	一斉	3 歌詞の内容や曲想から感じ取ったイメージについて、調べたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが調べたことを堂々と発表させる。 	◎ 書画カメラを利用して発表させる。
		個人ペア	4 歌詞の中から作者の言いたいことを探る。	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞から作者の最も主張したい部分がどこなのか、気付かせる。 	☆ 調べたことを皆の前で発表させる。
		一斉	5 歌詞にそれぞれ思いを重ねて表現する。	<ul style="list-style-type: none"> 歌詞にそれぞれの思いを重ねて生かしながら歌わせる。 	◎ 歌詞を書画カメラに映す。
		一斉	6 作者のメッセージや教師の思いや気持ちを聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 作者からのメッセージや教師の思いや気持ちを聞かせる。 	☆ ペアで考えさせ互いに説明させる。
		一斉	7 作者のメッセージや教師の思いを受け止めながら合唱する。	<ul style="list-style-type: none"> 作者のメッセージや教師の思いを受け止めながら合唱させる。 	☆ 考えたことを発表し合う。
					☆ 曲への思いを発表させる。
終末	5分	一斉	8 本時の学習を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返らせる。 	◎ 書画カメラを使い作詞者のメッセージを映す。
			9 次時の予告を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 次時の学習を告げる。 	◎ プレゼンテーションソフトを使い、教師の思いをつかませる。
					◎ プレゼンテーションソフトを使い、曲への思いをつかませる。

(6) 検証の方法

- ・ 学習意欲・・・生徒の観察, 発表, 課題への取組, 態度
- ・ ICT活用・・・興味・関心, 内容理解, 提示
- ・ 言語活動・・・ペアでの説明・指揮者の説明・全体での意見交換・自分の言葉でのまとめ

